

一緒に、
みんなで、
変える。

ひら
ない
大
改
革

平内
未来集 vol. 2

田中 大
たなか だい
プロフィール

平内町議会議員（現二期目）
平内町議会活性化特別委員会委員長
平内町商工会副会長
平内町赤十字有功会 会長
日光院管内神社総代会 会長
社会福祉法人徳寿福祉会評議員
青森塗装工業会特別顧問
青森県交通安全協会評議員
平内町白鳥を守る会 会員
自由民主党平内町支部組織委員長
東津軽郡の未来を考える会代表

昭和47年6月20日生（51歳）
平成 3年 青森県立三本木農業高等学校
農業土木科卒業
平成 5年 東北理工専門学校卒業
平成 5年 ㈱北斗住機入社（現在に至る）

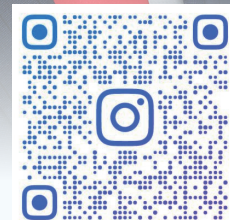
宮下新知事との連携で改革を迅速に。



公式ホームページ



田中大フェイスブック



公式Instagram

田中だい後援会事務所

〒039-3321 青森県平内町小湊字新道46-203
TEL 017-763-0170 FAX 017-755-4295

商工会青年部時代

商工会青年部時代に高橋竹山生誕100周年イベントの成功をはじめ、町内の行事に取り組むようになりました。PTA会長も経験させていただき、どんどん町へ貢献したいという気持ちが大きくなりました。



平成28年6月

教育現場の環境整備を（学校トイレの洋式化）

平成28年12月

ふるさと納税について

平成29年6月

公営学習塾を

全国初の公営学習塾『東通村学習塾』を視察し、学力テストで当町の中学生は全国平均を下回っており、入塾希望者は青森市内の学習塾に通っているため、経済的負担も大きいことから、町政に訴え実現しました。

平成29年9月

中学校統合の時期・教職員の多忙化解消について

子ども議会や町議会で取り上げられていた中学校統合問題について、時期等を明確にするよう訴え、のちに中学校統合が現実なものとなりました。

平成29年12月

企業誘致条例は時代に即した内容で制定を

当時の条例は昭和63年に制定され、工場設置ありきの条例でありました。そこで、対象となる業種の見直しを図り、多面的な助成制度を構築する新条例を制定すべきと訴えました。

令和元年6月

管内中学校統合について

中学校統合に向けての取組と進捗状況について、いただきました。

令和元年12月

子ども医療費の拡充について（高校生まで医療費無料化）

当時、乳幼児から中学生までを医療費無料としていましたが、高校生までを医療費無料とするよう訴え、実現しました。



公式ホームページ

過去の取り組み、田中大通信は
こちらからご覧いただけます



様々な取組を糧に議員となり、
7年を過ごしました。平内の為、
様々な問題に立ち向かいました。

令和2年3月

子供インフル予防接種助成について

インフルエンザ予防接種は、全額自己負担となり、13歳未満の子供は通常2回の予防接種を受けなければならない、家計を圧迫することから、13歳未満のインフル予防接種は無料に訴えた結果、実現しました。

令和2年6月

特別支援学校の通学支援について

当町の特別支援学校に通学する児童生徒の送迎は、親御さんが青森市内東地区のバス停まで送迎しておりました。親御さんは、仕事につくこともできず、不便を感じておりました。解消を訴えたところ、タクシーによる自宅玄関先までの送迎が実現しました。

令和3年3月

町専属スクールカウンセラーの配置について

町内小・中学校児童生徒の不登校は年々増加傾向にありながらも、当時のスクールカウンセリング状況は、非常に少ないものでした。そこで、町専属のスクールカウンセラーの必要性を訴え、実現しました。

令和3年9月

飲食店等への支援について

コロナ禍で、飲食店等は大打撃をうけた為、町で支援金支援するよう訴え、実現しました。

令和3年12月

医療用補正具の助成について

2人に1人はがんになる傾向にあることから、がん治療を続けながら社会生活を続けてもらうために訴え、実現しました。

令和4年3月

学生応援一時給付金について

コロナ禍で、アルバイトを続けられない大学生が退学を検討していることから、学生にも給付金を支給するよう訴え、実現しました。

令和5年4月

若手農家との懇談会を設け、現在の課題や
今後の展望を議論

まだまだやることがあります!実現させたいことがあります!

もっと平内の為に生きたい!!

ひらない大改革この町は、まだ変わる。

子育てしやすい町を目指す

- 町独自の子育て支援金拡充
- 多様な保育ニーズに対応する体制の構築

人口減少対策への挑戦

- 婚活サポートシステム構築
- 企業誘致の推進
- 高規格幹線道路整備計画推進

持続可能な地域医療提供体制の確保

- 平内中央病院医師確保

地域産業の更なる発展を目指す

- 農林畜産業の所得向上を目指す
- ホタテ養殖残さ処理施設課題解決
- 一次産業後継者問題の解決

高齢者にやさしい町づくり推進

- 買い物弱者支援
- 誰一人取り残さないデジタル対策

安全安心まちづくり推進

- マイレポひらない導入
- 防災備品購入補助
- 防災士資格取得支援
- 全町避難訓練の実施

魅力ある観光資源を最大限に活用する

- 冬キャンプ受け入れ
- アウトドアスポーツツーリズムを確立
- サイクリング環境整備
- 遊具整備

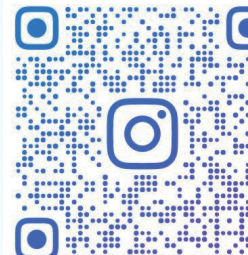
最新の活動はこちらから



公式ホームページ



田中大フェイスブック



公式Instagram



どこもやらない、どこもやれない教育の実現

1. 楽しい学校を目指す

- ・ ICT をフル活用した学習の推進
他校、企業との積極交流
- ・ 国内トップクラスのおいしい給食を目指す地産地消給食の推進
低カロリーでお腹いっぱいになる給食の考案
短命町返上メニューの考案
- ・ 部活動の完全地域移行の推進

2. 学びのある学校を目指す

- ・ 町そのものを教科書にした教育の推進
農林水産業の体験学習等
アウドアを中学校教育から推進
地域の伝統芸能を小学校教育から推進
海外姉妹校締結による国際人材の育成
- ・ 公営学習塾の更なる発展
弘前大学、県立保健大学と提携し、学生講師を派遣してもらう
教育アプリ導入

3. 安心安全な学校を目指す

- ・ スクールカウンセラー制度の充実
増員または勤務時間増
- ・ 町内全校の機械警備導入
- ・ 教育相談電話窓口の設置

4. 教員を大切にする町

- ・ ICT による徹底した働き方改革の実現
- ・ 町独自の予算による教員県外研修制度の創設
- ・ 町費負担の教育支援員、特別教育支援員の拡充及び質の向上



農林水産 一次産業に取り組まずして、
平内町はありません！ホタテ養殖業・加工業、
若手農家への継承、林業経営対策の推進。
これらは全て説明せずとも今以上の
取り組みを約束します！

ひらない自体が教科書となる、
子どもたちが誇れる町へ！
お年寄りの皆さんもそのお子様も
お孫さんその先までが暮らしやすい
活気あるひらない作り！

